令和８年 11 月 25 日

２学年　生徒、保護者の皆様

厚木北高等学校長

令和８年度　第１回「生徒による授業アンケート」について（報告）

本校の教育活動につきましては、日頃よりご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和８年７月に第１回の「生徒による授業アンケート」を実施いたしました。第１回の結果を踏まえ、授業改善への手立てを検討し、各教科で授業の質の向上に取り組んでおります。

つきましては、各教科のアンケート集計分析結果及び授業改善への取組の概要をご覧いただき、ご質問やご意見などがありましたら、ご連絡くださるようお願いします。

１．集計対象の科目（一部略称あり）

教科名	科目名	教科名	科目名
国　語	論理国語　古典探究	芸　術	音楽Ⅱ*3　書道Ⅱ*3
地歴公民	地理総合*2　歴史総合*1　日本史探究*3 世界史探究*3　公共*3	外国語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ　論理・表現Ⅰ*3
数　学	数学Ⅱ　数学Ｂ*3	家　庭	家庭基礎　保育基礎*3
理　科	物理*3　生物*3　化学基礎 生物基礎*3	情　報	情報Ⅰ*2
保健体育	体育*1　体育*2　保健		
	ｽﾎﾟｰﾂ総合演習*1　スポーツ概論*1　ｽﾎﾟｰﾂﾊﾞｲｵﾒｶﾆｽﾞﾑ*3		

*1 スポーツ科学科のみの科目　*2 普通科のみの科目 *3 選択科目　を展開している科目

２．質問及び選択肢の一覧

分類		質問	略称
授業のあり方	1	教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	理解度
	2	毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	ねらい・ふりかえり
	3	授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをとおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	思考の機会
	4	授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	まとめ・解決の機会
学習の状況	5	先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	意欲的態度
	6	予習、復習をしっかりしている。	予習・復習
	7	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	成長実感
	8	授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	思考の実践
	9	授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	まとめ・解決の実践
	10	授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	既習事項とのかかわり
	11	家庭学習を習慣化している。	家庭学習

否定的　１ほとんどあてはまらない　２あまりあてはまらない　３ほぼあてはまる　４かなりあてはまる　肯定的

問合せ先
副校長　　勅使川原
電話　046-241-8001

３．各教科の回答割合（一覧）

		1 理解度	2 ねらい・ふりかえり	3 思考の機会	4 まとめ・解決の機会	5 意欲的態度	6 予習・復習	7 成長実感	8 思考の実践	9 まとめ・解決の実践	10 既習事項とのかかわり	11 家庭学習
国語	1	4%	4%	3%	3%	3%	14%	5%	4%	3%	3%	22%
	2	8%	10%	8%	8%	13%	29%	14%	8%	16%	15%	29%
	3	41%	42%	42%	49%	49%	35%	51%	54%	51%	51%	30%
	4	47%	44%	47%	39%	35%	22%	30%	33%	30%	31%	19%
	－	12%	14%	11%	12%	16%	43%	19%	12%	18%	19%	51%
	→	88%	86%	89%	88%	84%	57%	81%	88%	82%	81%	49%
地歴公民	1	2%	3%	3%	2%	3%	14%	3%	3%	3%	3%	23%
	2	8%	10%	17%	16%	14%	31%	14%	14%	16%	16%	28%
	3	55%	54%	51%	54%	55%	36%	58%	56%	57%	60%	34%
	4	34%	33%	29%	28%	29%	19%	24%	27%	25%	24%	15%
	－	10%	13%	20%	18%	16%	44%	17%	17%	18%	16%	51%
	→	90%	87%	80%	82%	84%	56%	83%	83%	82%	84%	49%
数学	1	1%	1%	3%	1%	1%	9%	2%	3%	3%	2%	16%
	2	15%	15%	11%	11%	14%	29%	16%	13%	14%	18%	29%
	3	50%	52%	55%	53%	52%	39%	53%	57%	56%	52%	37%
	4	34%	32%	31%	35%	33%	24%	29%	27%	27%	29%	18%
	－	16%	16%	14%	12%	15%	38%	18%	16%	17%	20%	45%
	→	84%	84%	86%	88%	85%	62%	82%	84%	83%	80%	55%
理科	1	2%	3%	4%	2%	5%	11%	4%	4%	4%	4%	18%
	2	11%	12%	14%	11%	13%	26%	9%	16%	14%	15%	33%
	3	53%	52%	53%	54%	54%	44%	60%	53%	56%	55%	34%
	4	34%	33%	29%	33%	28%	19%	27%	27%	26%	27%	15%
	－	13%	15%	18%	13%	17%	37%	13%	20%	18%	18%	51%
	→	87%	85%	82%	87%	83%	63%	87%	80%	82%	82%	49%
保健体育	1	1%	2%	2%	1%	2%	15%	1%	2%	2%	2%	24%
	2	3%	7%	10%	8%	8%	26%	9%	11%	10%	10%	27%
	3	56%	51%	50%	53%	54%	36%	53%	53%	54%	54%	30%
	4	40%	40%	39%	38%	36%	23%	37%	35%	34%	34%	19%
	－	5%	9%	11%	9%	10%	41%	10%	13%	12%	12%	51%
	→	95%	91%	89%	91%	90%	59%	90%	87%	88%	88%	49%
芸術	1	0%	0%	0%	0%	0%	9%	0%	0%	0%	0%	9%
	2	0%	0%	0%	0%	0%	18%	0%	0%	0%	0%	45%
	3	36%	45%	36%	36%	36%	36%	36%	45%	36%	45%	18%
	4	64%	55%	64%	64%	64%	36%	64%	55%	64%	55%	27%
	－	0%	0%	0%	0%	0%	27%	0%	0%	0%	0%	55%
	→	100%	100%	100%	100%	100%	73%	100%	100%	100%	100%	45%
外国語	1	3%	4%	3%	2%	4%	16%	4%	3%	4%	5%	21%
	2	19%	17%	14%	16%	17%	30%	19%	17%	20%	21%	35%
	3	51%	53%	52%	59%	52%	37%	53%	55%	55%	54%	31%
	4	27%	27%	31%	24%	27%	17%	23%	25%	20%	20%	13%
	－	22%	20%	17%	17%	21%	46%	23%	20%	24%	26%	56%
	→	78%	80%	83%	83%	79%	54%	77%	80%	76%	74%	44%
家庭	1	1%	3%	2%	2%	3%	12%	2%	1%	3%	2%	26%
	2	12%	13%	16%	16%	16%	32%	16%	17%	16%	16%	29%
	3	53%	52%	50%	51%	53%	39%	51%	53%	56%	54%	32%
	4	34%	32%	32%	31%	29%	16%	32%	29%	27%	28%	13%
	－	13%	17%	19%	19%	18%	44%	17%	18%	17%	18%	55%
	→	87%	83%	81%	81%	82%	56%	83%	82%	83%	82%	45%
情報	1	5%	5%	7%	5%	6%	19%	6%	8%	5%	5%	32%
	2	21%	25%	27%	23%	19%	34%	16%	24%	28%	23%	31%
	3	51%	46%	48%	50%	51%	33%	54%	48%	45%	50%	25%
	4	23%	24%	18%	22%	25%	13%	24%	21%	23%	22%	12%
	－	26%	30%	34%	28%	25%	53%	22%	32%	32%	28%	63%
	→	74%	70%	66%	72%	75%	47%	78%	68%	68%	72%	37%

４．各教科の集計分析及び授業改善案

教科	集計分析	授業改善
国語	論理国語、古典探究ともに、「授業のあり方について」の項目で肯定的回答が多く見られた。このことから授業内においては、見方・考え方を働かせながら、他者と協働しながら、知識を相互に関連付けたうえで深く理解しようとする姿勢が身についていると考える。一方で、「予習・復習」や「家庭学習」に関しては否定的回答が多くあり、知識・技能の確実な定着に向けた学習課題の設定などを図っていく必要があると考えられる。	クイズレットを活用し、授業内容を復習することができる課題などを設定することで、家庭学習の習慣化を図っていく。また、notebookLM を利用し、生徒の視覚的教材を取り入れながら、授業を構築し、生徒の主体的な学習態度を養う。そして国語への興味・関心を高めるとともに、国語を学習することの意義を生徒自身が見いだせるよう、生徒同士が協働的に学習できる場を設け、生徒の主体的な学習態度を育む。
地歴公民	地歴公民ともに、「予習・復習」、「家庭学習」の項目に否定的回答が多かった。また、それ以外の項目については比較的肯定的回答が多く、特に「授業のあり方について」に関する４項目は高い水準で評価されている。このことから、教員は生徒の実態に合わせた授業づくりを行うことができており、それに合わせて授業における生徒の取り組みや理解度も良い傾向がみられている。一方で、生徒の学習が授業内で完結してしまい、家庭学習の意識づけが十分に行われていないことが分かる。	生徒が予習に臨めるように、生活に関係のある題材設定や問いかけをおこなうことで、生徒が身近な様々な事象・事柄に疑問や関心を持ち、授業外で探究できるような教材作成を行う。また、プリントやクロームブックなどを利用した課題追究型の活動を取り入れることで、授業外の様々な事象に興味を持つよう促す。家庭学習を定着させるために、復習用ワークシートを配付したり、発展的な課題を出す等の工夫を行う。
数学	全体的に肯定的回答が多いことから、授業に集中して取り組んでいると考えられる。しかし、「予習・復習」「家庭学習」においては、肯定的回答が他の項目より少ないことから、家庭学習の習慣が身についていないと考えられる。２学期以降の授業のあり方を工夫して、習慣が身につくようにしたい。	まずは家庭学習において復習する習慣がつくよう、宿題や演習という形を用いて定期的に振り返りをさせたい。生徒の理解度に合わせた授業展開を考え、小テスト等を利用し、授業内容の定着を図る。単元に応じて ICT の活用等を検討する。
理科	授業のあり方に関してはどの科目も肯定的回答を多く得ているが、各科目で以下の項目について否定的回答が多かった。「家庭学習」の項目で否定的回答が約 51%であった。また「予習・復習」の項目で否定的回答が約 37%であった。「まとめ・解決の機会」の項目で否定的回答が約 18%であった。学習の状況については、どの科目も「予習・復習」や「家庭学習」が例年と同様、否定的な回答の数値が高い。	まずは家庭学習において復習する習慣がつくようにする。宿題や小テストという形を用いて定期的に振り返りをさせたい。生徒の理解度に合わせた授業展開を考え、小テスト等を利用し、授業内容の定着を図る。
保健体育	スポーツ科学科のスポーツ概論では、肯定的回答が約 90%占めているが、その中でも、「理解度」、「ねらい・振り返り」の項目が 100%と顕著に肯定的回答であった。専門体育に関しては、特に「成長実感」の項目で顕著に肯定的回答を得ることができた。普通科の体育に関しても平均して約 90%の肯定的回答であったが、共通して「予習・復習」、「家庭学習」の回答が約半数が否定的回答であり、課題を抱えている。 保健に関しては「予習・復習」、「家庭学習」の項目を除いた項目で 90%を超える肯定的回答を得た。中でも、「理解度」が 98%であった。	スポーツ科学科、普通科に共通して、生徒同士の意見交換の場面を設定することで自らの動きや考えを客観的に把握し、思考し、実践するサイクルを意識的に行った。結果的に理解度の向上にも肯定的な影響が表れ、生徒の成長実感などにつなげることができたため、今後も継続していきたい。 「予習・復習」、「家庭学習」の項目に関しては昨年度同様に課題を感じている。Classroom などを活用して教材を授業時間のみならず、家庭でも使用して、次回の授業につなげるなどの工夫を行っていけたらと考えている。

芸術	「授業のあり方について」は、全体的に肯定的回答が多く、生徒は授業に対して概ね前向きに取り組んでいることがうかがえる。一方で、「予習・復習」や「家庭学習」に関する項目では、他の項目と比較して否定的回答がやや多く見られた。このことから、授業中の学習には意欲的に取り組んでいるものの、学習内容を授業外で継続的に振り返ったり活用したりする習慣については、十分に定着していない生徒が一定数いることがうかがえる。	予習・復習や家庭学習の充実を図るため、データや音源、動画などの教材を積極的に活用し、生徒が時間や場所を問わず学習内容を振り返りやすい環境を整備していく。また、学習した内容を授業外の場面でも活用できるよう、生徒が身近な事象や生活の中から課題や疑問を見いだす機会を設け、主体的に学びを深められる授業づくりを進めていきたい。さらに、家庭学習と授業とのつながりを意識させることで、学習習慣の定着を図りたい。
外国語	「理解度」に関して肯定的回答が半数を超えており、生徒の習熟度に合わせた授業が行われていることがうかがえる。その一方で、「予習・復習」「家庭学習」については否定的回答が40%を超えている。このことから授業の中においても家庭学習の習慣を付け、生徒が自発的に学習に取り組めるよう、取り組んでいく必要がある。	英語学習に対して目標を持たせ、積極的に英語学習に取り組めるようにするため、授業内で家庭学習を行えるような声掛けを行うことや授業で成長したと思えるような活動を取り入れ、生徒が英語学習に対して前向きに取り組めるような工夫が必要である。
家庭	「家庭学習」の項目については否定的回答が半分以上であった。「予習・復習」についても大半が否定的回答であった。その他の項目については肯定的回答が多かったが、ほぼあてはまるの回答が多かったので改善が必要である。「理解度」項目については、肯定的回答が多いため継続できるようにしたい。	自ら学ぼうする意識づけができるようにするために、授業の目標を定め、生活や自分事として結びつけられるように教材を工夫する。主体的、対話的な授業づくりを心がけ「思考の機会」を得られるようにする。実技試験や単元テスト等を取り入れることで「予習・復習」につなげ、生徒への言葉かけを大事にし「意欲的態度」や「成長実感」を高められるようにする。
情報	「成長実感」と「理解度」の項目が比較的に高く、実習を中心とした授業としては良い方向であると感じた。「予習・復習」、「思考の機会」の項目は比較的に低い。	生徒に興味を持たせる、学ぶ意欲をもたせるような授業を考えていきたい。１回の授業の中で、理解をするポイントがはっきりしており、身についたことの実感できる授業を目標とする。詰め込みすぎて理解するポイントが多すぎるのは避けたい。

※紙面の都合上、質問内容については**〈略称〉**を用いて表記しています。

分類		質問	略称
授業のあり方	1	教材が工夫されるなどして、取り組みやすく、生徒の理解度に合わせた授業が進められている。	**理解度**
	2	毎回の授業の最初に、ねらいを確認したり、授業の終わりに学習したことを振り返ったりする機会がある。	**ねらい・ふりかえり**
	3	授業の中で、友人と話したり、文章を読むことなどをとおして、自分の考えを広げ深める機会がある。	**思考の機会**
	4	授業の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考えたりする場面がある。	**まとめ・解決の機会**
学習の状況	5	先生・友達に聞いたり、自分で調べたりするなど、授業に対して意欲的に取り組んでいる。	**意欲的態度**
	6	予習、復習をしっかりしている。	**予習・復習**
	7	授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。	**成長実感**
	8	授業の中で他の人の考えを聞いたり読んだりして、自分の考えを広げ深めることができた。	**思考の実践**
	9	授業で学んだことに対する自分の考えを書いたり、新しい問題を解決する方法を考えたりすることができた。	**まとめ・解決の実践**
	10	授業で新たに学んだことを、これまで学んでいたことに、結び付けて理解することができた。	**既習事項とのかかわり**
	11	家庭学習を習慣化している。	**家庭学習**